

令和5年度11期生研修旅行 12月5日～8日

第1日

午前8時～8時15分に羽田空港に、第1ターミナル、第2ターミナルに分かれて集合しました。出発の諸注意を終えて、手荷物検査を経て、搭乗口へ向かいます。



搭乗口到着後、バスで飛行機へ向かいました。いよいよ搭乗です。



飛行機は出発が若干遅れましたが、離陸後は順調に目的地の大分空港に向かい、11時40分頃到着しました。大分空港の施設を出たらバスに向かいます。今日の目的地は、立命館アジア太平洋大学（APU）です。



バスに50分ほど乗ると、山の上にあるAPUに到着しました。APUは敷地がとても広く、学生の半数は海外からの留学生という大学です。



APUでは、LbEプログラムに取り組みました。これは、APUで学ぶ留学生と一緒に、英語を使いながら、いろいろな国のことや文化の違いを理解するプログラムです。最初に、実行委員からのあいさつ、諸注意。次に、LbEプログラム係からのあいさつが続き、プログラムがスタートしました。



最初は、“Shrimp, Pea, Meat”というアイスブレイキングのゲームで盛り上がりました。その後、グループに分かれて、留学生が日本で受けたカルチャーショックの話、自己紹介、APUキャンパスツアー、留学生の国と日本との違いと共通点を見つけるワークショップなどの活動を行いました。





留学生からは、「本校生徒は高い英語力を持ち、相互に意思疎通ができる。すばらしい。」とのコメントをいただきました。2日目の午前中は、鉄輪温泉でLbEプログラム2日目を実施します。

約3時間に及ぶLbEプログラム1日目を終了し、17時に本日の宿、城島高原ホテルに到着しました。別府と由布のちょうど間にある宿です。英語をたくさん聞いたり話したりしてお腹が空いたあとなので、18時からのビュッフェ形式の夕食はとてもおいしくいただくことができました。



夕食後は、クラスごとに入浴です。生徒からは、「露天風呂が最高です」「サウナがあってよかったです」などの声が聞こえてきました。今日は朝がとても早かったので、温泉で疲れを取り、明日の研修も充実したものにしてほしいと思います。